



福山大学  
FUKUYAMA UNIVERSITY

# 学 報

2007.7.10 Vol. **113**

## 三蔵五訓

真理を探究し、道理を実践する。  
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。  
生命を尊重し、自然を畏敬する。  
個性を伸展し、紐帯性を培う。  
未来を志向し、可能性に挑む。



実習船（第二爽風丸）

生命工学部附属内海生物資源研究所（尾道市因島大浜町）

## 特集

# 18年度就職状況 就職率97.3%をマーク



特集 FUKUDAIの就職事情	1~2
麻疹(はしか)への対応	3
新入生合宿オリエンテーションの報告	3
学内トピックス	4
学生の活躍	5~6
地域への貢献	7
研究の今	8~9
施設利用のすすめ	10
インフォメーション	11~14

# 毎年全国上位の就職率をマーク

## 今年度はさらにアップ!

卒業生の就職内定状況は、企業の積極採用を反映して97.3%と昨年を0.2ポイント上回りました。本年はさらに

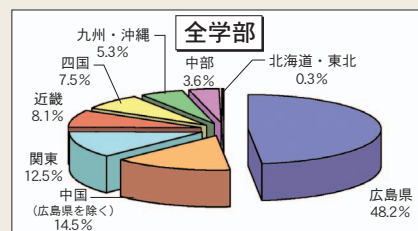
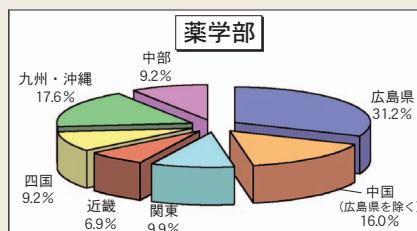
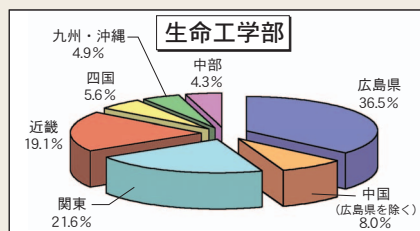
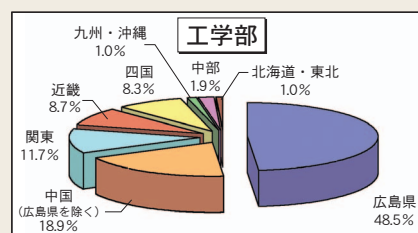
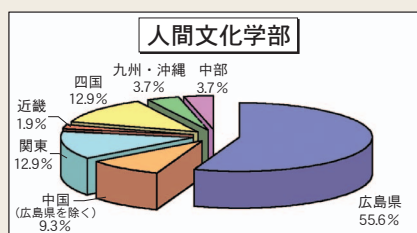
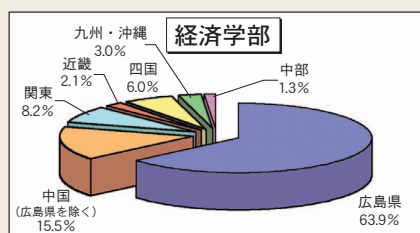
企業の採用意欲が高まっており、採用活動を早める企業が増加し、大学への求人も2,192社（5月31日）と昨年同時期に比べて450社の増になっています。

また、公務員の採用枠も、大量退職時期を迎えて拡大しています。しかし

難関であることに違いはなく、1, 2年次の早期からの試験対策が必要です。

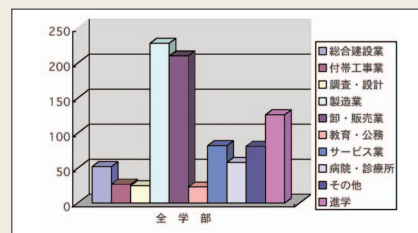
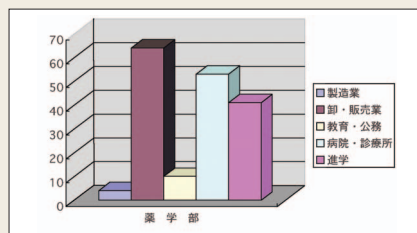
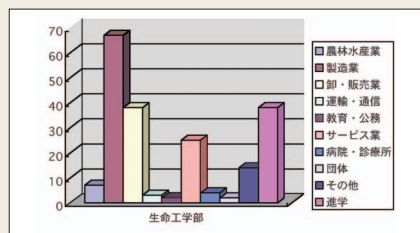
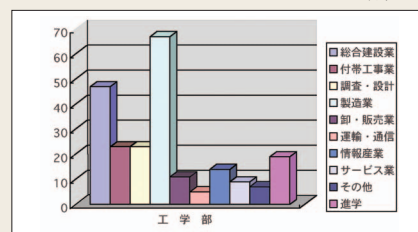
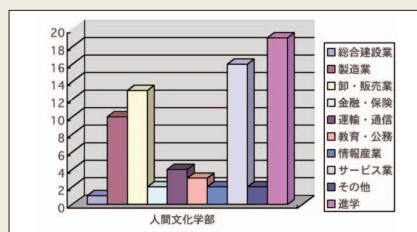
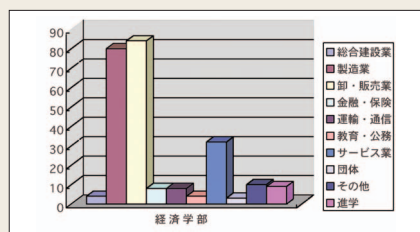
各学部の地域別・業種別（大学院等進学を含む）の就職状況は、次のグラフの通りです。

## 平成18年度地域別就職状況



## 平成18年度業種別就職者数

(単位: 人)



## 昨年度の就職概要

本学の就職内定状況は、平成14年度88.9%, 15年度92.3%, 16年度95.5%, 17年度97.1%, そして18年度は97.3%となり、日本の景気回復と共に着実に上昇してきています。特に3, 4年前から電気・機械関係の求人が多くなり、現在、この分野では完全に売り手市場となりました。他の分野も昨年から徐々に求人に見られる様になってきましたが、今年は急激に全分野で売り手市場になってきている感があります。

## 今年度の求人状況

今年、急激に企業の求人意欲が強くなってきている要因は、日本の景気回復に加え、少子化、団塊世代の大量退職が重なった複合的なものであると考えられます。福山大学においても5月末の求人数は2,192社となっており、昨年同月の1,752件を大幅に上回っています。少子化は定常的なものであり、この2, 3年は団塊世代の退職が続きますので、これらの要因は企業の求人意欲にプラスに働くと思われます。今

年の学生は非常に恵まれた環境の中で就職活動ができていると思われます。実際に多くの上場企業に、内定が出てきています。

企業の求めているのはトータルの“人間力”です。学生の皆さん、自分を過小評価せず、チャレンジできるチャンスです。皆さんの健闘を祈ります。

就職委員長 廣瀬 順造



## 福山大学主催「合同企業説明会」

福山大学では、学生の就職活動を積極的に支援するため、大学主催の「合同企業説明会」を開催しています。本年は、下記の日程で実施しました。

採用担当者の参加意欲は強く、本学学生に大きな期待を寄せています。参加いただいた企業は176社、延べ参加企業数は254社に上りました。

	実施日	会場
第1回	2月21日	福山ニューキャッスルホテル
第2回	3月12日	福山大学大学会館
第3回	5月16日	福山大学大学会館
	5月17日	



福山ニューキャッスルホテル



福山大学 大学会館

### ご参加いただいた企業

アース環境サービス、青山商事、アキタ、アクトシステムズ、旭螺繊維、旭電業、アシード、アドテックプラステクノロジー、アマノ、アンデルセンサービス、安藤建設、アンフィニ広島、イカリ消毒、池下設計、池田糖化工業、石井表記、いすゞ自動車中国、伊豆義、井上塗料、井原自動車（isグループ）、イワキテック、インデッパ、因島機械、ウツミ屋証券、絵広、エフビコ、オー・エイチ・ティー、大野石油、大宮工業、大本組、岡山県警察本部、尾道造船、尾道三菱自動車販売、オムロン岡山、加ト吉、河原、北川鉄工所、享栄エンジニアリング、共栄店舗、共和医理器、キングパーツ、クロダルマ、桑宗、甲神電機、合田工務店、コーコス信岡、弘法、幸陽船渠、光和物産、コスミック工業、コメリ、坂本デニム、サタケ、サンエス、サンキ、三共冷熱、三恵工業、サンケイマネージ

メントサービス、三平興業、山陽工業、山陽石油、山陽マルナカ、サンヨーフーズ、シーゲートコーポレーション、シービー化成、ジー・ピー・ダイキョー、ジーベック、ジーンズ・カジュアル ダン、JFEスチール西日本製鉄所、自衛隊、シギヤ精機製作所、自重堂、シマダオール、しまなみ信用金庫、ジュンテンドー、食協、新光証券、スペースフューチャー、セキスイハイム中国、瀬戸内通信鋼業、ゼンショー、仙味エクス、総合警備保障、外林、ソネック、大栄鋼業、ダイエットクックサプライ、ダイキ、大正製薬、大創産業、太平電業、太陽建機レンタル、大和クレス、大和重工、タカオ、竹中工務店、タツモ、中電工、ツネイシホールディングス常石造船カンパニー、デオデオ、テラマチ、東洋シート、東洋証券、新鉄道、トヨタカローラ広島、内海造船、ナカタ・マックコーポレーション、なかやま牧場、名古屋製酪、ナフコ、ニシナ百貨店、西日本フード、西日本リネンサプライ、西日本旅客鉄道、ニチエー、日本運搬機械、日本化薬、日本研紙、日本システムデベロップメント、日本情

報管理システム、日本ホイス、野村證券、浜本工芸、ハローズ、ピーシーシー、菱友商事、ビジネスセンター岡山、ビッグボーン商事、広島化成、広島クライスラー、広島県警察本部、広島県信用組合、広島総合警備保障、広島トヨペット、備後信用組合、備後通運、フェニテックセミコンダクター、福井亀之助商店、福留ハム、福山ゼネラルサービス、福山鋳造、福山通運、福山臨床検査センター、扶桑商会、ブプレひまわり、ブリヂストンIPH、プレス工業、ベスト電器、北洋・本多フーズ、ホシザキ中国、前嶋、松芝エンジニアリング、万惣、御池鐵工所、三菱電機プラントエンジニアリング、源吉兆庵、メガネの田中チェーン、メディアテック心、モリヤマ、モンテカルロ、ヤスハラケミカル、やまひろ、やまみ、山脇酸素、ヤンマー農機西日本、ユーホー、ヨコハマタイヤ中国販売、ライフネット難波、理研産業、両備信用組合、菱陽電機、リョービ、リョービミラサカ、レニナス、ロイヤルコーポレーション、ローム・ロジステック

## 採用内定者のコメント



経済学部経済学科  
酒井 優  
内定先  
ホーコス株式会社

本格的な就職活動は1月からです。内定先企業へは、2月の合同企業説明会と3月初めの会社説明会に参加し、採用試験と3月末の最終面接を経て内定をいただきました。対策としては国・数・英の基本を高校までの教科書で復習し、SPIの問題を繰り返し勉強しました。

面接には、志望動機と自己アピールが自信を持って言えるようになるまで、何度も内容を吟味することが大切です。また、面接官の目を見て、聞き・話すことも大切です。日頃から意識し、慣れしておく必要があります。その甲斐があって自信を持って面接に臨むことができました。



薬学部薬学科  
濱本 琴美  
内定先  
アステラス製薬株式会社

本格的に活動をはじめたのは2月からです。外資系企業ではすでに内定が出ていて、焦り気味のスタートでした。エントリー企業の中から10社を絞り会社説明会に参加しましたが、一番苦労したのはやはり「面接」でした。不採用の通知が何通も届きました。

そんな時、就職活動で出会った友達から、「自分がどういう人間かをきちんと分析することが大事。いいことを言おうとしても無駄」とアドバイスをもらい、次の面接まで自分と向き合いました。その結果次の面接からはリラックスして堂々と話せるようになり、志望企業から内定を頂くことができました。

この就職活動を通して多くの人に出会い、多くの人の考え方にふれ、少し成長できたかなと思っています。社会に出て行くことに不安はありますが、自分がどれだけ成長できるか楽しみです。

## 今年度の就職関連行事

### 「就職ガイダンス」(5～12月)

1. 職業選択と就職活動・就職試験に向けて
2. 就職活動の準備と対策
3. 一般常識テスト・SPI適性検査
4. 一般常識テスト・SPI適性検査のフォローアップ講座
5. Web登録と活用
6. 就職活動の実際と対策
7. 自己分析と進路決定
8. 就職体験発表会

### 「対策講座」(10月～1月)

1. 新聞の読み方講座
2. 文章の書き方講座
3. 業界・企業研究
4. 自己分析講座  
(自己PR・志望動機の書き方)

### 「保証人との就職懇談会」

経済学部・人間文化学部 (11月)  
工学部・生命工学部 (1月)  
薬学部 (4月)

### 「合同企業説明会」(2月～3月)

## 麻疹(はしか)による 全学休校と補講の案内

福山大学において麻疹に感染した学生が発生したことに伴い、麻疹の感染拡大を防止するために、学部・大学院の全授業を6月6日5時限目から6月16日までの間休講とし、また学内外における課外活動を停止し、校内への立ち入りを禁止しました。

休校期間中、学生は自宅学習とし、6月18日からは一部の学科を除き授業を、6月17日からは課外活動を再開しました。この度、休校中の授業の補講は前期定

期試験の開始を一週間遅らせることと、6月23日から7月21日までの毎週土曜日の午後を充てることとなりました。前期定期試験も当初の予定より一週間遅れて、7月30日～8月6日の6日間に変更し、実施されることとなりました。

今後も麻疹を発症していると疑われる学生については登校停止とし、医療機関で診断を受け、自宅療養し、麻疹の発症を確認した場合、解熱後3日間は自宅待機するようホームページや掲示などにより注意を喚起しています。過去に麻疹の罹患経験がなく、予防接種を受けたことがない、あるいは接種後10年を経過した場合は、最寄りの医療機関で抗体検査や予防接種を受け、



麻疹への緊急告知

抗体検査やワクチンの接種を受けた学生はその証明書を大切に保管するよう呼び掛けています。

学務部

## 新入生合宿オリエンテーションの報告

### 学生リーダーが大活躍

新入生266名と学生リーダー16名、教員8名が、みろくの里(本館)での合宿(4月9日～10日)に参加した。本館は経済学部だけの利用となったため、食事や入浴がスムーズに行え大変よかった。合宿先でも履修指導に時間を取られ、教員と学生間の親睦行事が行えなかったが、学生リーダーによるクラブや大学生活などの紹介、留学生リーダーによる中国の文化や民族の紹介などが盛況であった。

経済学部 准教授 三川 敦



昼食はカレー

### 友情の絆を深めるために

人間文化学部3学科は、岡山県にある「国立吉備青少年自然の家」にて合宿を行った。初日は自己紹介、翌日はゲームやスポーツなどレクリエーションを楽しんだ。いずれも学生リーダーがリードし、学生主体の団体行動であった。自然の豊かな落ち着いた環境で、新入生は親睦を深めることができた。この合宿をきっかけに今後も友情の絆を深めていってほしいと思う。

人間文化学部 講師 中橋 雄



笑顔が輝く記念の1枚

### 学生生活の出発点としての合宿

ヒューマニズム教育に繋がるようにと、目標を「自己開示をして友と知り合う」として実施した。「自己紹介」から「他己紹介」、そして、紙に描かれた四葉のクローバーの葉一枚一枚に自分の夢・幸福・家族・現実をイメージして色鉛筆で絵を書き、自己開示を行った。その後「今、心にあること」と題して、薬剤師としての将来の希望などについて討議し、その中で「人から信頼される薬剤師になりたい」などの自己目標が発表された。

薬学部 准教授 田中 正孝



グループ討議の場面

### 近ごろの学生気質

建築・建設学科となつてはじめてのオリエンテーションとなった。基本的なカリキュラムの違いから、旧学科に分かれての履修指導となった。新入生は、教員、大学院生の指導があったため、非常に熱心に履修計画に取り組んでいた。彼等の情熱を感じ、合宿2日目には、賞品、賞状を準備し、万全の体制でオリエンティングに臨んだが、どうも大学生には不向きな企画だったようだ。何事にも履修計画の時のように熱心に取り組んでもらうことが、今後4年間の課題かと思われる。

工学部 准教授  
宮地 功



履修指導中

### 山と海の中で新たな友情を結ぶ

新入生を迎えた生命工学部3学科は、大学で履修指導を終えて、「ふくやまふれ愛ランド」では学生同士の交流に多くの時間をあてた。生物工学科と応用生物科学学科は山林の遊歩道を利用してのオリエンティングや、野趣あふれる飯盒炊爨をにぎやかに楽しんだ。海洋生物工学科はソフトバレーで盛り上がり、2日目に因島キャンパスで養殖施設や水族館を見学した。学生たちは魚を見ながら目を輝かせていた。



養殖施設の見学風景

生命工学部 講師  
山岸 幸正



## 留学生研修旅行

～姉妹提携校(中国)の転入生を迎えて～

株式会社福山通運 小丸法之会長（学校法人福山大学理事）の招待で、首都師範大学・貴州師範大学からの転入生12名が4月28日広島・宮島へ研修旅行に参加した。ガイド役として日本人学生3名と教員2名も同行した。

最初、広島平和記念公園の原爆資料館を訪れた。各自、音声ガイドを頼りに、熱心に展示物を見学した。原爆による被害の凄惨さを目の当たりにし、戦争の悲惨さ、愚かさを肌で感じると共に、日本、中国という国境を越えた世界平和について、改めて考えさせられた様子だった。

次に厳島神社（宮島）では、青い海の中にたたずむ朱色の建造物群の美しさに感動、その歴史についても自ずと



広島平和記念公園にて

興味が湧いてきたようだった。折から、潮干狩りに来ている大勢の家族連れに誘われるかのように、裸足で水遊びに興ずる留学生の姿は印象的だった。中国でも内陸育ちの学生の中には、生まれて初めての海にその感動も一人だったにちがいない。

一方、同行の日本人学生は、留学生からの鋭い質問攻めに、広島、日本の文化、歴史について改めて考えさせられたのではなかろうか。同時に初めて身近に接する中国人学生とのやりとりを通し、知らず知らずのうちに異文化交流を体験、中国語の修得に向けて心を新たにしたことだろう。

今回の研修旅行は全参加学生にとって今後の学生生活への糧となるような大変実りの多いものとなった。貴重な機会を提供していただいた小丸会長に深甚の謝意を捧げたい。

留学生センター 講師 八杉 和子

## 盛況のうちに終了 人間文化学部 In Action 2007 !

「In Action 2007」は、人間文化学部が、学部学生及び教員の力を結集して、学友会文化部の支援のもと、福山大学の文化の力を地域に示す行事である。昨年度まで行っていた「お花見コンサート」を組み込んでバージョンアップし、充実した会となった。

オープニングでの、華やかな本学管弦楽団と吹奏楽部の演奏の後、学生の研究発表では、心理学科の田中ひろみさんが「児童期における心理的ストレスの研究」、人間文化学科日本文化コースの青木ゼミ学生4人が「温井神楽の歴史―被爆と復興」、同学科欧米文

化コースの、大戸研君が「書物の装丁の歴史」、最後に、メディア情報文化学科の野口翔一君が「雑誌記事の企画制作～バス釣りをテーマに」と題して、それぞれスライド・自作ビデオにより発表した。学生発表のあとは、文化講演「アニメーションいきいき」が行われた。講師の木下小夜子先生は、アニメーション作家で国際アニメーションフェスティバル（広島で開催）のリーダーでもある。講演の内容は、アニメーションのドラマティックな文化立ち上げのサクセスストーリーで、その情熱は会場の聴衆を圧倒した。フィナーレは、三蔵太鼓の演奏と、人間文化学部学生によるバンド演奏で親しみ深く終った。その他、各学科、美術部の作

品展示を行った。高校生約50名、一般の方約150名の参加があった。学生の発表や企画について貴重なご意見をいただき、今後の励みになった。

人間文化学部 教授 青木 美保



講演する 木下 小夜子先生

## 島根・鳥取県人会の発足

3月22日から3日間、島根県・鳥取県出身者の就職活動を支援するため松江・米子およびその周辺地区の企業訪問（35社）を行った。企業関係者によると、かつては東京・大阪方面へ多くの学生が進学していたが、最近ではより近くの瀬戸内方面へ進学する学生が増加している。卒業後は地元へ帰り地域の発展に貢献することを彼らに期待しているとのことであった。私たちは貴重な意見として聞くとともに、福山大学の責任の重さを痛切に感じた。また今回の企業訪問では、ある企業の方

から次のような驚きの言葉を聞いた。「さっき会った同僚が、同じ福山大学出身とはいま初めて聞きました。お互いが知っていればもっとスムーズな話ができた。」と残念がっておられた。こうした背景もあって島根・鳥取県人会は発足されたものである。

現在福山大学では島根県並びに鳥取県出身の在校生が100名を超えるようになった。そこで、このたび島根・鳥取県出身の先輩・後輩が一堂に集まり、就職のこと、勉学のこと、部活のこと、そしてふるさとのことなどについて情報交換や楽しい集いをもとうということになり、第1回目の集いを5月16日

と17日に1号館1階の大講義室で開催した。両日で43名の在校生が出席した。参加した学生たちは初めて顔を会わす者も多く、出身地、学部、趣味などについて語り合い和やかなうちに散会した。今後は学生たちの活発な活動を期待される。また、人間文化学部の奥村昭和客員教授と生命工学部の田中保准教授も出席され、島根・鳥取県人会の顧問を引き受けていただいた。

経済学部 准教授 上迫 明

# 学 生 の 活 躍

## 第30回全日本学生軟式野球選手権に向けて

私たち軟式野球部は、週6日の練習に励んでいます。限られた時間の中で、みんなで協力し頑張っています。

5月21日から、6日間にわたり、平成19年度西日本地区学生軟式野球春季リーグ戦が行われました。昨年は、

3位という結果で、全国大会にあと1歩というところで出場することができませんでした。その悔しさを胸に、今年こそは絶対に全国大会に出場するという気持ちで、チーム全員がこの大会に臨みました。



軟式野球部のメンバー

とても苦しい試合の連続でしたが、6勝1敗という成績で、優勝することができ、全国大会出場が決まりました。このような結果を出すことができたのは、一人ひとり集中し、試合に出ている人、出ていない人全員がひとつになっていたからだと思います。

第30回全日本学生軟式野球選手権（8月18日～22日）は、愛知県で行われます。それまでに、更にチームがひとつになり、レベルアップし、その勢いで、全国大会でも優勝できるよう、頑張っていこうと思います。応援宜しくお願いします。

経済学部 経済学科 3年  
学友会軟式野球部 主将 中本 祥正

## 天皇賜杯第76回日本学生陸上競技対校選手権大会2年連続出場

今回、天皇賜杯第76回日本学生陸上競技対校選手権大会（3000mSC・国立競技場）に二年連続で出場しました。昨年は学部生として初めて出場しましたが、予選で敗退し、全国レベルの高さを痛感しました。そして今年は大学院生となり、後輩たちと練習時間があわなかったため、監督の助言のもとで自分なりの考えで一人で練習を行い、中四国大会で優勝することができました。この結果は鶴崎監督、後輩たちの応援だけでなく、私が所属する研究室の先生方の理解があってこそ果たすことができたことだと思っています。

福山大学では大学院生がサークル活動を行い、試合に出場するということは今までありませんでした。しかし大学の陸上競技では、大学院生が大会で活躍するのを今まで目にしてきたことなので、もし大学院へ進学するのなら研究・勉強とサークル活動の両方をやろうと思っていました。しかし、いざ大学院に進学してそれらを両立させようすると、とても大変なことだということが分かりました。今はまだどちらも努力が十分とはいえませんが、卒業する頃にはどちらも悔いが残らないように両立させたいと思っています。



1号館ピロティでの壮行式

大学院工学研究科 生命工学専攻 1年  
学友会陸上競技部 正木 彬

平成19年度

JOCジュニアオリンピックカップ

## 第5回全日本ジュニア選手権大会

生命工学部 海洋生物工学科 1年  
学友会ボート部 北条正人君

全日本ジュニア選手権は、「アジアジュニア選手権大会」並びに「世界ジュニア選手権大会」の日本代表選考を兼ねており、全国から実力のある選手が集まる大会の一つです。

ジュニア選手の資格をもつ北条君は、昨年に引き続いて同大会へのエントリーが認められ、日本代表選手を目指し



ゴール直前の競い合い（手前が北条君）

て大会に臨みました。会場の熊本県菊池市北部にある斑蛇湖ポートコースは、2001年に完成した竜門ダムに整備され、熊本国体と全国高等学校選手権競漕大会を開催した実績をもち、現在、全日本ジュニア選手権を毎年開催しています。

梅雨入りした九州地方は、大会期間中雨で、湖面は風が舞い、時折り波頭が白くなるほどであり、試合結果は全体的に記録の低いものでした。北条君は、予選では振るわず、午後の敗者復活戦に期待をしましたが、後半の伸びもみられず、準決勝へ進むことはできませんでした。

北条君を引率した川元

房満ボート部監督は、他チームの監督や選手たちと情報交換する中で、次のことを感じたそうです。①競技に使用している艇と備品のほとんどが世界の最先端のもので、②選手たちの目標が「日本代表になること」と明確かつ単純でした。また、一人の選手から「代表になれて本当に嬉しい、これでまったく違う学校の選手たちと練習でき、また世界の選手をみることで技術的なことを含め多くのことを学ぶことができる」と返ってきたそうです。「目的と目的に到達する手段は違う」が口癖の川元監督は、選手たちと接して得た感動を本学ボート部員の今後の指導に役立ててくれるものと確信しています。

学友会ボート部 顧問 無漏田 芳信



私は、個人戦では、昨年度全日本学生選手権大会6位入賞、同じく西日本ボウリング選手権大会準優勝の成績を上げました。福山大学のボウリング部では、個人の技能を上げると同時にチーム全体の成績の向上に向けて、全力投球しています。

その成果が現れて、ボウリング部は、4月28日から5月27日まで行われた平成19年度中四国ボウリング連盟春季リーグ戦で団体優勝を勝ち取りました。また、個人戦では、1位から4位まで

全てを福山大学の学生が勝ち取りました。

(1位 大下純矢〔機械システム工学科 1年〕, 2位 桑田幸宗〔人間文化学科 4年〕, 3位 有田周平〔電子・電気工学科 4年〕, 4位 大下耕平〔人間文化学科 3年〕)

ちなみに、個人戦優勝者の大下純矢は私の弟で、両親ともにボウリングの選手です。私は、中学1年生からボウリングの練習を始めました。今は授業の合間を縫って、週3日の練習を欠かしません。今年の目標は、全国大会で

上位入賞を果たすことです。クラブのみんなと競いながら、部員全体の力の向上を目指します。

人間文化学部 人間文化学科 3年 学友会ボウリング部 主将 大下 耕平



練習中の大下 耕平君

## 留学生スピーチコンテスト最優秀賞受賞

経済学部 国際経済学科 3年 趙 文岐君

備後地方の留学生を対象とした日本語スピーチコンテストが、ふくやま国際交流協会などの主催で、3月11日、福山市内のホテルで開かれた。出場者は、中国や韓国、米国など5カ国14人で、その中から、経済学部の趙文岐君が最優秀賞に選ばれた。

趙君のスピーチは「お前ならできると私を変えた一言」と題して、留学生活における苦労とその克服の過程について語ったものである。留学してしば

らくアルバイトと遊びに明け暮れる生活をしていたころ、アルバイト先のお客に、「お前ならできる」と言われた。その一言がきっかけとなって、それまでの自分が一転して前向きになり、検定や資格に挑戦、合格するようになったことを熱く語っている。それは、若者が自らの人生に立ち向かう力を獲得するまでの話で、若者全般に通ずる貴重なメッセージとなっている。



最優秀賞のトロフィーを持つ 趙 文岐君と経済学部の教員

## 福山東警察署協議会の委員に福大生

6月7日福山東警察署で開かれた委嘱式で、福山東警察署協議会の委員の一人に、本学人間文化学部 心理学科 3年生の中島永美子さんが選ばれました。福山東警察署の協議会で大学生が委員に選ばれるのは初めてのことで、広島県内でも珍しいことです。

警察署協議会は、市民の声を警察業務に反映させる場として2001年6月から導入されました。広島県内の27署に設置されています。協議会委員は最大15人で、任期は2年です。年3回程度

の協議会が開かれています。

地域安全マップ作りを推奨する本学心理学科平伸二先生(犯罪心理学)の指導のもとで、2年生の終わりごろから、地域安全マップ作りの指導員活動のほかに、保護観察中の少年少女の話し相手をするボランティア活動にも取り組んできました。平先生から「若い世代の意見が警察の仕事に反映し」「新鮮に受け止められるのでは」との強い勧めもあり協議会委員を引き受けることになりました。福山東警察署長からも

「若い世代の提言を」と期待されています。



協議会委員の任命を受ける 中島 永美子さん

## 「学生ホール活性化のためのデザインコンペ」表彰式 学生ホール改装に向けて

学生による大学施設活性化プロジェクトの一つとして行われた「学生ホール活性化のためのデザインコンペ」に計6名の応募がありました。学生代表を含む6名の審査委員が、慎重に協議した結果、優秀賞に岡田智之君(薬学研究科)、奨励賞に川崎真史君(建築学科)、大野竜也君(建築学科)、及び中熊辰徳・池田通輝君(共同制作、薬学研究科)、そして佳作に岡田典子さん(建築学科)と伊与田貴章君(建築学科)が選ばれました。

4月20日12時20分から学生ホールにおいて、本コンペの表彰式が行われました。宮地 尚学長の挨拶の後、入賞者に賞状と奨学金が手渡されました。

優秀賞に輝いた岡田智之君は、「友達と一緒に知恵を出し合って作品を創りました。優秀賞をいただいて感謝しています。学生ホールが学生の皆さんにとって何時でも和むことのできるスペースになればと思います。」と話していました。

今後、学生の皆さんから提案してい

ただしましたアイデアを参考にして、学生ホールを改装する予定です。

学務部 学生課



学長より表彰された優秀賞 岡田 智之君

# 地域連携活動

— 地域への貢献 —

## 福山「ばら祭」でボランティア活動のPR —心理学科, 平研究室の奮闘記—



「ゆっぴー」と一緒にボランティア活動の宣伝

5月19日と20日の2日間、福山「ばら祭」のボランティアブースに模擬店を出店しました。模擬店では、ゼミ生が協力してリング焼きを作って販売しました。出店の申請、材料の調達と資材の運搬、当日の調理と販売は大変な作業でしたが、卒業生も応援に駆けつけるなど、ゼミの親睦を大いに深めることができました。また、ボランティア活動を宣伝するステージでは、広島県の青少年健全育成活動のマスコット「ゆっぴー」とともに、ゼミ生が行っ

ている地域安全マップの指導を中心に、非行少年離脱者の学習支援、保護観察中の少年の社会参加活動支援なども紹介してきました。会場では新たな出会いがあるとともに、これまで指導してきた小学生や地域の方々とも再会でき、とても楽しい時間を過ごすことができました。2日間の売上は、今後のボランティア活動の資金として活用していく予定です。

人間文化学部 心理学科  
教授 平 伸二



モノづくり教室 (2月)

水泳教室やピアノ教室、学習塾があるようにいい技術者になるための塾があっても良いのではないのでしょうか？高校生や中学生の理科離れは、小学生

## びんご子どもモノづくり塾

の工作離れに問題があるのではないのでしょうか？小さいときからモノづくりの楽しさを感じ経験することは大切です。

「びんご子どもモノづくり塾」は、そんなきっかけになってほしいと思い、小学生を対象にした「モノづくり教室」と小学生の保護者や小中学校の教員を対象にした「モノづくり教育支援事業」を開始しました。この活動は、福山大学、福山市中学校技術・家庭科研究会、

日本郷土玩具博物館、エフエムふくやまの後援を得ています。「モノづくり教室」では、大学生の学生スタッフが子どもたちを指導し、多くの大学生がスタッフとして参加しています。

学生のスタッフを募集しています。  
詳しくはホームページ参照

([www.fukuyama-u.ac.jp/gakubu/mecha/mono/index01.html](http://www.fukuyama-u.ac.jp/gakubu/mecha/mono/index01.html))

工学部 機械システム工学科  
講師 小林 正明



放流アサリの実験区を設定する学生達

## 因島アサリ資源の再生を目指す地域連携研究

因島キャンパスがある大浜地区では近年アサリが激減し、地域住民の共通の楽しみであったアサリ堀りができない状態となっています。海洋生物工学科では、この5月から、地域住民、漁業協同組合、瀬戸内海水産研究所と連携して、アサリ資源の回復の連携研究を始めました。5月1日

には漁協が提供したアサリ種苗約1トンを学生・住民が同地域に放流しました。今後、住民による放流貝の自主管理を進め、放流貝の成長、天然のアサリ種苗量などを調べ、科学的にアサリ資源の回復を目指します。

生命工学部 海洋生物工学科  
教授 乾 靖夫

## 早期体験学習(薬学入門) —薬学部6年制の新しい教育—



ボランティアファカルティから電子カルテの説明を受ける(公立みづき総合病院にて)

「早期体験学習」は薬学生としてのモチベーションを高めることを目標に、薬学部6年制のコア・カリキュラムとして導入された「薬学入門」の一つで、「卒業生が活躍する場を体験することによる薬学専門教育への積極的な態度の高揚」という重要な役割が求められています。早期体験学習では病院、保険薬局、ドラッグストア、研究所等の施設を学生だけで訪問させ、自らが積極的に学ぶ当事者となることで、多くの課題が見えてきます。病院で調剤を

体験した女子学生が、「髪留めを忘れた、爪が長かった」事を大いに反省していました。この当たり前の注意事項をマニュアル的な指導からではなく、自らがその本質に気づいた貴重な機会になったと考えます。多くのボランティアファカルティのご協力により、この「気づきの学習」が医療人としての態度の醸成や能動学習の育成につながることを期待しています。

薬学部 教授 岡村 信幸



## 学生の受賞 平成18年度 電子情報通信学会中国支部奨励賞受賞

本年3月に工学研究科電子・電気工学専攻を修了した橋本信亮君(現日本国土開発株)が、5月18日、電子情報通信学会中国支部より奨励賞を受けました。

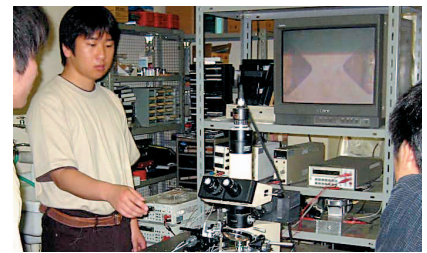
受賞テーマは昨年10月21日に電気・情報関連学会中国支部第57回連合大会で発表した「平行ビームを用いた微小球体の運動制御」で、これは物質に光を当てたときに僅かに生じる力(光圧)を応用した研究です。

この研究分野では、鋭く集光した光

の光圧による微小物体の捕捉が注目されていますが、橋本君は集光していないレーザ光線の光圧で、微小物体を動かすことに着眼しました。

発表では、その一つの結果として、光ファイバから発した赤外レーザビームを用いて、直径数 $\mu\text{m}$ の透明な微小球体を速く、効率よく運動制御できることを示し、これがマイクロマシンなどへの応用の可能性を示唆する成果として評価されました。

工学部 電子・電気工学科  
准教授 香川 直己(指導教員)



実験中の橋本信亮君

## 学生の受賞 平成18年度 電気・情報関連学会中国支部奨励賞ダブル受賞

情報処理工学専攻修士課程2年の福永裕也君(発表時1年)が、電子情報通信学会中国支部奨励賞(23名)と情報処理学会中国支部奨励賞(9名)の2つの賞を受賞しました。受賞対象は、平成18年10月21日に岡山理科大学にて開催された電気・情報関連学会中国支部第57回連合大会で発表した「主成分分析を用いた映像中の欠損領域の復元」です。テレビ放送では、1秒間

に約30枚のフレーム(静止画)が使用されており、今回の発表では、字幕が含まれた映像から、字幕で隠された画素部分を複数のフレームの情報を利用することで、復元する方法を提案しました。417件の発表があり、優秀な学生論文・発表に対して、各学会が奨励賞を授与しました。ダブル受賞の学生は非常に少数のため、大変価値があり、情報工学科にとっても大きな名誉です。

工学部 情報工学科  
准教授 尾関 孝史(指導教員)



ダブル受賞の賞状を持つ福永裕也君

## 教員の研究 チャールズ・ディケンズとともに

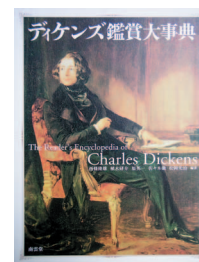
世界文学史上初のクリスマス作品として1843年の登場以来、今日まで圧倒的な存在感を保ち続けている『クリスマス・キャロル』の作者が、イギリスの国民的作家チャールズ・ディケンズ(1812-70)であることは、いまさら述べる必要もあるまい。『オリヴァー・トゥイスト』や『二都物語』といった著名な長篇の蔭に隠れて、『キャロル』以外は殆ど知られていないディケンズのクリスマス作品群を主たる考

察対象として、私はこれまで著書や翻訳の形でその成果を発表してきた。

そして、この度刊行された『ディケンズ鑑賞大事典』(南雲堂)(写真参照)で、研究の集大成として、クリスマス物の作品世界を論考する機会を得た。四十名近い第一線のディケンズ研究者が総力を結集して、この巨大な作家の全貌を浮き彫りにした、質量ともに抜きん出た大著であるので、ぜひとも本書を手にとって、私の文章を含めて、

その充実した記述を味わってほしい。

人間文化学部 人間文化学科  
教授 篠田 昭夫



## 教員の研究 「流れの可視化」

本学へ赴任してきて早や30年目になる。当初から大きな研究テーマとして「流れの可視化」を掲げ、所属学科の専門である水工学研究に関しての実験的研究を行っていた。「平成」に替わってからは研究領域を流体工学へと広げ、「交差流れの可視化」(一例として右図参照)という新しい流れの解明に挑戦し始めた。この流れは、工学だけでなく、広く自然科学の分野に存在しているにも拘らず、意外と注目されていなかった。種々の物体配列のもとでのネットワーク流れなどでは、交差流れが主流を形成し、物体による二

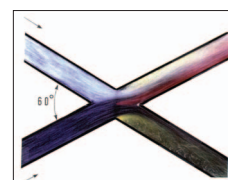
次流れの発生から複雑な混相流界面現象も加わり、その解明が求められている。

高額の私学設備機器拡充補助などによって可視化計測機器の購入に恵まれ、交差流れの基礎的解明からネットワーク流路内の流れの可視化にも挑戦することができた。菱形角柱群管路を用いた流出噴流に自励振動が発現することを発見することができ、さらに同じ流路からマイクロバブルを発生させることもでき、基本特許の取得・出願ができた。

還暦を迎える歳に至って今までの

研究成果を図書として出版ができる補助金が内定した。同時に新しいマイクロミストの発生に着目した研究助成などにも恵まれた。広島TLOとの応用開発にも目を向けているが、基礎的な種々の流れの可視化研究も引き続き発展させたいと考えている。

工学部 建築・建設学科 教授  
梅田 眞三郎



交差流れの可視化結果

## ふくやま美術館で 記念シンポジウム開催

福山市市制施行90周年記念事業「フランク・ロイド・ライトと武田五一：日本趣味と近代建築」展の記念シンポジウム「ライトと武田五一をめぐって」が、去る3月10日ふくやま美術館において開催され、本学工学部から松本静夫教授、宮地功准教授、水上優講師がパネラーとして参加しました。

本展主催者である近代建築福山研究会会長、松本教授が趣旨説明を行い、

福山出身の建築家、武田五一を概説。次に宮地准教授が、現地調査によって武田作品として確認された富岡鉄斎の書庫魁星閣をスライドで紹介。続いて水上講師がライト研究の成果をふまえ、ライトと武田のデザインの連関について論点を提供し、パネラーの間で議論が展開されました。

新聞紙上で事前に採り上げられたことも効を奏し、会場には多くの市民が集いました。参加者と質疑応答もかわされるなど、知的熱気にあふれるシンポジウムとなりました。

工学部 建築・建設学科  
講師 水上 優



記念シンポジウム会場風景

## メディア活用で 日本の教育を切り拓く

我が国では、「教育の情報化」に力を入れる政策が推進されています。将来的には、初等・中等教育における普通教室での授業で、教師も児童・生徒も、1人1台ノートパソコンを活用して学習するような時代がやってくるのかもしれない。

そのような時代の到来を見据えて、情報メディアを最大限に活かした教育環境やその効果について、モデル校を舞台に実証研究を行う「NEXTプロジェクト（マイクロソフトと独立行政法人メディア教育開発センターとの包括提携によるプロジェクト）」があります。私はこのプロジェクトに参画しています。

(<http://www.microsoft.com/japan/education/next/default.mspx>)

1. 学力の向上、2. 校務の効率化、3. 保護者、地域との連携、といった具体的な目標に対して、環境整備や活用方法の具体策をモデル校に助言し、評価研究を行っていくことが私の仕事です。こうした活動を通して、ICTの発達・普及を見据えた新しい教育環境を提唱していきたいと考えています。

人間文化学部 メディア情報文化学科  
講師 中橋 雄

## 平成19年度 科学研究費補助金

### ★特定領域研究

◎藤田 泰太郎 生命工学部 教授  
枯草菌代謝制御ネットワークの物質産生系への有効活用 (440万円)

### ★基盤研究B

◎藤田 泰太郎 生命工学部 教授  
細菌の潜在薬剤耐性遺伝子の戦略的発掘 (533万円)

◎南 宏一 工学部 教授

耐震性新鋼材を用いた耐震構造システムの開発研究 (598万円)

◎三宅 正太郎

人間文化学部 教授

初等教育におけるメディア・リテラシー教育用リソース及びリソースガイドの開発 (637万円)

◎松田 文子 人間文化学部 教授  
心理的時間の形成とゆがみに関する実験的研究 (455万円)

◎谷口 順彦 生命工学部 教授

最小血縁個体選択交配による継代人工種苗の遺伝的多様性保全シミュレーション研究 (858万円)

### ★研究種目

◎研究代表者氏名 所属 職名  
研究題目 (交付内定金額)

### ★基盤研究C

◎日比野 俐 薬学部 教授  
医薬素材を指向した天然物合成への電子環状反応の活用に関する研究 (156万円)

◎田村 豊 薬学部 准教授  
冬眠ハムスターの神経保護および神経機能維持機構解明に関する研究 (143万円)

◎青野 篤子 人間文化学部 教授  
ジェンダー・フリー保育の効果に関する研究 (104万円)

◎平 伸二 人間文化学部 教授  
長期間経過後の虚偽検出における犯罪現場の映像による事前呈示の有効性 (91万円)

◎梅田 眞三郎 工学部 教授  
マイクロミストを含む安定流体膜形成時の混相流界面における流れの可視化研究 (312万円)

◎無漏田 芳信 工学部 教授  
従来型特養へのユニットケア普及のための住環境改善マニュアルに関する研究 (117万円)

◎田中 保 生命工学部 准教授  
野菜の消化プロセスで生じる創傷治療ホルモンによる消化管創傷修復 (273万円)

### ★若手研究B

◎廣川 空美 人間文化学部 講師  
女性労働者のためのストレスマネジメント教育プログラムの開発 (60万円)

◎三宅 幹子 人間文化学部 准教授  
ネガティブな出来事に対する原因帰属と対処行動が精神的健康に及ぼす効果 (70万円)

◎秦 季之 薬学部 講師  
ドッキングシミュレーションのための異方性を考慮した溶媒効果の評価法の開発 (30万円)

◎引野 亨輔 人間文化学部 講師  
江戸時代における藩主神格化の比較研究 (50万円)

◎橋本 優花里 人間文化学部 講師  
高次脳機能障害のための配信型認知リハビリテーションの開発と評価に向けて (100万円)

◎広岡 和丈 生命工学部 講師  
土壌成分に応答する枯草菌由来転写因子の分子認識の解析とその改変 (70万円)

### ★研究成果公開促進費（学術図書）

◎梅田 眞三郎 工学部 教授  
ネットワーク流れの可視化に向けて交差流れを診る (190万円)



# 施設のご案内

## 保健管理室の活動

保健管理室の活動は、学生・職員の健康診断と有機溶剤・特別化学物質取扱者の健康診断、健康診断書の発行、衛生指導、AED講習、有病者の生活指導、応急処置、病院紹介・救急移送、禁煙指導、心身の健康相談など多岐にわたっています。平成16年度から18年度の保健管理室の利用状況は表に示したとおりです。皆さん保健管理室を有意義にご活用ください。

### 医師による健康相談日

日時：毎月2回（掲示でお知らせ）  
場所：大学会館 保健管理室  
担当：末丸紘三医師  
（保健管理室非常勤講師）

保健管理室の利用状況（件）

	16年度	17年度	18年度
応急処置	892	1030	851
健康相談	444	974	1128

### カウンセラーによる健康相談日

日時：毎週2回  
火曜日 10:00～13:00  
金曜日 13:00～17:00  
場所：大学会館 保健管理室  
担当：藤居尚子カウンセラー  
（保健管理室で予約が必要です）

保健管理室長事務取扱 田中 正孝

## 図書館という場所

本学図書館には、現在約30万冊の本があります。でも単に本を集めた所を図書館というわけではありません。利用者の必要とする本や情報を、求めに応じて選択、提供していく場所が図書館なのです。研究を進めていく中で、行き詰まった時、集めた情報について自信が持てなくなった時は、遠慮なく図書館員に相談してください。きっと

期待している的確なアドバイスと、問題解決の糸口を与えてくれるはずですよ。  
事務長心得 桑田成年



メインカウンターおよび、レファレンス（相談）コーナー



19万冊収納可能な保存書庫群（1階）

## キャリアセンターから

### “学生の方々への熱きメッセージ”

自分の人生を豊かに、しっかりと歩んで頂くために、一人ひとりの潜在的な素晴らしい資質を引き出し、大学生生活を充実させ、将来の社会進出に自信を持ってチャレンジできるように、サポートします。「キャリアデザイン」

の授業や、個別カウンセリングを通して、自己の多様な可能性に夢を描いてください。

自分の未来に向かう「成功へのパートナー」として、1年次からキャリアセンターを大いに活用してください！

キャリアセンター長 中村 博  
（1号館 就職課の隣）



キャリア・カウンセリングの模様  
合同企業説明会（福山ニューキャッスルホテル）にて

## 留学生センター案内

留学生センターは、本学に学ぶ外国人留学生と海外に留学を希望する日本人留学生のための学内共同利用施設です。留学生センターの主な業務は次の通りです。

1. 日本語・日本文化に関する教育
2. 修学上及び生活上の指導助言
3. 地域の国際交流に関すること
4. 海外留学希望者への指導助言

1については、日本語能力試験合格はもちろんのこと、アカデミック・ジャパニーズの修得を目指し、それに対応する授業を開講しています。また、2の生活指導については、留学生センター（1号館2F 学生課隣）に教員が常駐し、留学生の相談に応じる体制を整えています。留学生のみなさん、気軽に立ち寄ってください。

また、日本人の留学希望者にも、そ

の支援を行っていますので、相談してください。

留学生センター長 大久保 勲

平成19年度前期 留学生センター当番表

	月	火	水	木	金
1	足立	原	島	島	渡辺
2	渡辺	青木	川地	服部	許
昼休 期 後 半	服部	青木	足立	川地	許
	大久保	渡辺	原	島	三浦
3	原	足立	許	大久保	服部
4	大久保	青木	川地	三浦	三浦



留学生センターで集う留学生たち

## 学食探訪 —第一食堂—

写真は「豚丼」（350円）と人気を二分する「さぬき定食」（420円）。カツ丼とうどんを合わせた定食で、誰でも満足できるボリュームに対して、控えめの価格が学生に人気だ。また第一食堂では、10:30～11:30、13:30～15:30の時間内ではご飯大盛り、ドリンクのいずれかを選ぶ事ができる。込み合う時間帯を外してゆっくり食事をするのも良いだろう。

人間文化学部 人間文化学科 3年  
埜之内 慎也



人気の「さぬき定食」

## 高校生CMコンテスト募集始まる

人間文化学部メディア情報文化学科では、映像メディアに対する高校生の豊かな感性を開花させ、その才能を支援することを目的として「第2回高校生CMコンテスト」を開催します。

昨年度と同じく、全国の高校生を対象として、「あなたの『まち』を全国にアピールしよう！」というテーマでPR作品を募集します。

ビデオで撮影・編集した作品を募集する「映像作品の部」では、授業や部活などを通じて映像制作に取り組んでいる高校生みなさんに、日ごろの活動の成果を発揮してもらえることを期待しています。あるいはコンテストへの参加が、制作に挑戦するきっかけになるかもしれません。それに対して、絵コンテに企画をまとめる「企画コンテの部」

は、映像制作の設備を持っていない高等学校であっても、気軽に参加してもらうことができる部門です。他の地域の人には知りえない地元の魅力で人を惹きつけ、その「まち」に行きたくなくなるようなCMを考えてもらいたいという意図で企画いたしました。

人間文化学部 メディア情報文化学科  
教授 三宅 正太郎

詳しくはウェブサイトをご覧ください

<http://www.fuhc.fukuyama-u.ac.jp/human/media/cm2007/>

お問い合わせは、人間文化学部事務室084-936-2112(内線2223)もしくは

cm2007@fuip.fukuyama-u.ac.jpまで。

三蔵祭の期間中には、応募作品の上映・展示を予定しておりますので、どうぞご期待下さい。

## 福山大学公開講座「安心・安全な暮らし〈2〉」

平成19年度は昨年度に引き続き「安心・安全な暮らし」を統一テーマとして、福山・三原の両会場で、9月から10月にかけて開催されます。

年金、ネット被害、信頼を裏切るメディア番組、誘拐、地震、放火、感染症や薬害など、暮らしの至る所で安心・安全を脅かす出来事が起こっています。技術革新の急激な変化に理解がついていけないことも、危険・不安に陥る原因ではないでしょうか。

本講座で近未来の情報社会、高齢社会などの姿を理解していただき、不安解消のお役に立てればと願っています。

### 公開講座の概要

#### 第1話「安心できるライフプラン・社会保障について」

小林 正和（経済学部 講師）  
福山9月15日（土）、三原9月19日（水）

#### 第2話「メディア社会の安全と未来—マスコミ報道からケイタイ利用まで—」

飯田 豊（人間文化学部 講師）  
福山9月22日（土）、三原9月26日（水）

#### 第3話「安全・安心な住まい」

中山 昭夫（工学部 教授）  
福山9月29日（土）、三原10月3日（水）

#### 第4話「食品の安全性について」

倉掛 昌裕（生命工学部 准教授）  
福山10月6日（土）、三原10月10日（水）

#### 第5話「薬の効き目はヒトによって違う？—代謝の個人差について—」

五郎丸 毅（薬学部 教授）  
福山10月13日（土）、三原10月17日（水）

#### 第6話「情報革命と安全な暮らし」

小林 富士男（工学部 教授）  
福山10月20日（土）、三原10月24日（水）

公開講座委員長 井上 矩之

## “もっと大学に関心をもって”『教育懇談会開催』

開学以来実施している懇談会。名古屋以西の西日本を中心に、各地で開催します。保証人の声を反映し、昨年好評だった担任、学科教員との懇談、土日開催等を今年も導入しています。教務、学生、就職等全体説明の後、各学生の前期までの成績・単位取得状況、今年の履修科目への出席状況等を保証人と本学教員が膝を交えて懇談します。

保証人の皆様。新しい風を吹き込みにぜひお出下さい。さらに来ていただきやすい懇談会を目指しています。

### ○日程

開催地：会場

#### ○8月25日（土）

福岡：福岡ガーデンパレス  
松山：松山東映ホテル

#### ○8月26日（日）

岡山：まきび会館  
高松：高松東急イン

#### ○8月27日（月）

大阪：大阪ガーデンパレス

#### ○8月29日（水）

姫路：姫路キャッスルホテル  
小郡：山口グランドホテル

#### ○8月30日（木）

松江：松江東急イン  
名古屋：名古屋ガーデンパレス

#### ○8月31日（金）

広島：広島ガーデンパレス

#### ○9月1日（土）

福山：福山大学

#### ○9月2日（日）

福山：福山大学

学務部 教務課



## 学友会短信

### 【陸上競技部】

○5月18日～20日 第61回中国四国学生  
陸上競技対校選手権大会 3000mSC  
優勝 正木 彬(大学院工学研究科1年)  
10000m 第3位 石原 泰樹(経済4年)  
○6月8日～10日 天皇賜杯第76回日本学  
生陸上競技対校選手権大会 3000mSC  
正木 彬(大学院工学研究科1年)

### 【硬式野球部】

○4月7日～5月20日 平成19年度中国六  
大学野球春季リーグ戦 第3位ベストナ  
イン DH 三崎 恭平(経済3年)

### 【サッカー部】

○5月16日～6月10日 第31回中国大学サ  
ッカー選手権兼総理大臣杯全日本大学  
サッカートーナメント大会中国地域予  
選大会 出場  
○6月23日～8月26日 2007年度全広島  
サッカー選手権決勝大会

### 【剣道部】

○5月19日 第54回中四国学生剣道選手権  
大会 出場  
○5月26日～27日 第52回西日本学生剣  
道大会 出場  
○6月17日 第86回広島県春季学生剣道大  
会 出場

### 【柔道部】

○5月25日～26日 平成19年度中国四国  
学生柔道優勝大会 出場

### 【空手道部】

○5月13日 第32回中四国学生空手道選手  
権大会 出場

### 【ソフトテニス部】

○5月2日～6日 第29回中国学生ソフトテ  
ニスリーグ戦大会 1部リーグ出場

### 【バスケットボール部】

○4月1日～6月23日 2007年度中国学生  
バスケットボール春季大会 出場

### 【卓球部】

○5月18日～20日 第58回中国学生卓球選  
手権春季大会 出場

### 【弓道部】

○4月20日～22日 第40回中国学生弓道競  
技大会 出場  
○5月20日 2007ばら祭り弓道大会 出場  
○7月1日 第14回弦道弓道大会(本学に  
て)

### 【ボート部】

○5月2日～5日 第60回記念朝日レガッタ  
出場

### 【軟式野球部】

○5月21日～26日 平成19年度西日本地区  
学生軟式野球春季リーグ戦 優勝  
○8月18日～22日 第30回全日本学生軟式  
野球選手権大会 出場決定

### 【二輪部】

○3月25日～10月21日 FIM2007モトク  
ロス世界選手権日本グランプリ 出場  
星野 裕(経済4年) 種子 善之(経済3  
年)

○5月11日～13日 All Japan  
Motocross Championship 第4戦  
ヒートII 第3位 星野 裕(経済4年)

### 【ワンダーフォーゲル部】

○4月29日 新入生歓迎ハイキング(黒滝  
山)

### 【ボウリング部】

○4月28日～5月27日 平成19年度中 四  
国ボウリング連盟春季リーグ戦 団体  
優勝

個人 優勝 大下 純矢(機械1年)  
準優勝 栗田 幸宗(人文4年)  
第3位 有田 周平(電気4年)  
第4位 大下 耕平(人文3年)

○5月19日～20日 第24回中国地区ボウリ  
ング選手権大会 出場

### 【吹奏楽部】

○4月29日 六方学園 園遊会 出演

### 【ダンス部】

○4月15日 2007ちゅーピー祭(中国新聞  
社主催) 出演

○5月13日 JFE西日本フェスタinふくやま  
出演

○5月20日 2007ばら祭り 出演

### 【写真部】

○4月10日～18日 写真展(学生ホール)

### 【美術部】

○4月6日～20日 美術展(15号館1階)

### 【三蔵太鼓を打つ会】

○4月28日 第64回尾道みなと祭 出演

### 【学友会執行部】

○4月13日 春の献血キャンペーン

○5月15日 春季学長杯争奪競技大会

## 国際交流瓦版

林琳さん(人間文化4年・中国)、呉静怡さ  
ん(人間文化3年・中国)、が(財)広島平和文  
化センター等主催「第5回留学生のための総  
合就職セミナー」に参加。(1月13日)

Mingchua Tatsaneeさん(人間文化2年・  
タイ)が府中市生涯学習センター主催「Int'l  
Cooking-タイ編」講師として再登壇。  
(1月20日)

金善福さん(人間文化4年・中国)がイコ  
ル福山主催「中国語を通して世界をみよう」  
の講師。(毎週金曜日、全6回シリーズ初回)  
(1月23日)

'07年度留学生会役員選挙で会長に趙文岐  
さん(国際経済2年・中国)、副会長に  
Tsvetelina Krumovaさん(人間文化2年・  
ブルガリア)、姚遠さん、王毅さん(いずれも  
国際経済2年・中国)が選ばれた。(1月24日)

干秀英さん(国際経済1年・中国)ら8名が  
'06年度日本語能力試験1級合格。(2月8日)

Mingchua Tatsaneeさんが'07年度ロー  
タリー米山奨学生に採用決定。(1月17日)

王琲さん(人間文化3年・中国)が姉妹大学  
UCRへ6か月(4月～12月)外国人初の留学  
のため離日。(2月16日)

人間文化学部主催「留学生を励ます会」が  
市内の中華料理店で開催され教員と留学生  
が懇親を深めた。(2月20日)

木下和幸さん(心理学科3年)が大学間教  
育交流協定に基づく交換留学生として貴州  
師範大学(中国)へ1か年(3月～'08年2月)留  
学のため出国。(3月5日)

第15回外国人留学生による日本語スピー  
チコンテストで趙文岐(国際経済2年・中国)  
さんが「最優秀賞」、李艶燕さん(人間文化3年・  
中国)が「優秀賞」を受賞。(3月11日)

井瑜瑋さん(人間文化4年・中国)が  
NHK.TV「鲁迅ゆかりの日中交流」に出演。  
(3月23日)

双方向の国際交流推進のため、国際交流  
課を新設。初代課長に阿南達子氏。(4月1日)

貴州師範大学(中国)、首都師範大学(中国)  
から転入生、交換留学生ら10名が広島空港  
経由で来日。(4月1日)

上海師範大学(中国)と福山大学との間の  
教育学術に関する交流協定を締結。(4月8日)

井瑜瑋さん(広島大学大学院・中国)がDVD、  
NHK.TV「鲁迅ゆかりの日中交流」を寄贈。  
(4月18日)

天津海技大学(中国)と福山大学との間の  
教育学術に関する交流協定を締結。(4月19日)

財団法人熊平奨学文化財団奨学生に李艶  
燕さん、秦永恒さん、趙文岐さん、3名が採用  
決定。(4月20日)

留学生会(趙文岐会長)が「留学生新入生歓  
迎パーティ」開催。留学生、教職員ら70余名  
が出席。鍋料理を囲んで、相互交流。(4月21日)

(株)福山通運 小丸法之会長が留学生に  
ひろしま・宮島招待旅行プレゼント。首都・貴  
州師範大学(中国)からの転入生ら留学生12名、  
日本人学生3名がGW前の世界遺産を見学。  
引率足立、八杉先生。(4月28日)

平成19('07)年度在籍外国人留学生数確定  
総数125名。国籍(地域)別では、中国121名、  
モンゴル・ブルガリア各1名、タイ2名。  
(5月1日)

恒例の「留学生の集い」。「アルバイトに関  
する申告書」(現況届)の受付開始。(5月11日)

Mingchua Tatsaneeさんが(財)ロータ  
リー米山奨学会'07年度奨学生に採用決定。  
(5月11日)

熊平奨学文化財団奨学生認証式に、李艶  
燕さん、秦永恒さん、趙文岐さんが出席。  
(5月31日)

# 学 内 人 事

## 【役職関係】

### ◎新任

学長	宮地 尚
副学長	嶋田 拓
自己評価委員会委員長	嶋田 拓
人間文化学部長	松田 文子
人間科学研究科長	松田 文子
環境情報学科主任	松田 文子
生命工学部長	里内 清
経済学研究科長	大久保 勲
工学研究科長	小林富士男
情報工学科主任	小林富士男
生命工学系研究科長	松浦 史登
人間文化学部長補佐	丹藤 浩二
生命工学部長補佐	秦野 琢之
経済学科主任	島 敏夫
国際経済学科主任	富士 彰夫
心理学科主任	青野 篤子
メディア情報文化学科主任	三宅正太郎
広報委員会副委員長	三宅正太郎
建築・建設学科主任	松本 静夫
生物工学科主任	山本 覚
情報処理センター長	三谷 康夫
社会連携センター長	井上 達雄
キャリアセンター長	中村 博
留学生センター副センター長	三浦 省五
教務委員会副委員長	井ノ内直良
学生委員会副委員長	上迫 明
入試委員会副委員長	平 伸二
センター入試実施委員会副委員長	栗延俊太郎
広報委員会委員長	平田 宏二
北京教育研究センター貴州支部長	許 霽

(以上4月1日付)

### ◎退任

副学長	松浦 史登
生命工学部長	嶋田 拓
生命工学系研究科長	嶋田 拓
工学研究科長	古江 嘉弘
人間文化学部長補佐	松田 文子
心理学科主任	松田 文子
生命工学部長補佐	里内 清
経済学科主任	大久保 勲
建設環境工学科主任	上野谷 実
建築学科主任	中山 昭夫
情報処理工学科主任	小林富士男

生物工学科主任	秦野 琢之
情報処理センター長	川久保和雄
情報処理センター副センター長	田中 始男
知的財産センター長	井上 達雄
キャリアセンター長	掛江 正造
留学生センター副センター長	島 敏夫
教務委員会副委員長	三川 敦
学生委員会副委員長	青野 篤子
入試委員会副委員長	伊藤 祐一
自己評価委員会副委員長	伊藤 祐一
センター入試実施委員会副委員長	泉 潤慈
自己評価委員会委員長	壺井 基夫
広報委員会委員長	山本 覚
国際交流事業運営委員会副委員長	岡 晃弘

(以上4月1日付)

## 【教員】

### ◎定年退職

経済学部教授	高田 雄司
人間文化学部教授	奥田 邦男
工学部教授	小田 哲
薬学部教授	小橋 一彌

(以上3月31日付)

### ◎退職

学長	吉永 昭
経済学部教授	田中 秀征
人間文化学部教授	吉田 一衛
人間文化学部教授	河野 順子
人間文化学部教授	林 七雄
人間文化学部講師	八重樫 文
生命工学部助手	木村 陽子
薬学部助手	平田千賀子
薬学部助手	中山やちよ
薬学部助手	宗村小夜香
薬学部助手	馬場 瑛子
薬学部助手	舟田 有里
薬学部技術助手	藤岡 信子
薬学部技術助手	寺尾 和美

(以上3月31日付)

### ◎昇任

経済学部教授	小林 陽治
人間文化学部准教授	山崎 理央
人間文化学部講師	渡辺 浩司
工学部講師	小林 正明

薬学部准教授	本屋敷敏雄
薬学部准教授	佐藤 英治

(以上4月1日付)

### ◎配置換え(福山大→福山平成大)

工学部教授	坪井 始
生命工学部教授	壺井 基夫
生命工学部教授	沖増 英治

(以上4月1日付)

### ◎配置換え(学内)

#### ○配置換え(所属学科)

経済学部教授	大久保 勲
(経済学科→国際経済学科)	
経済学部教授	佐野 進策
(経済学科→国際経済学科)	
経済学部教授	井上 矩之
(建設環境工学科→国際経済学科)	
経済学部教授	伊藤 祐一
(環境情報学科→税務会計学科)	
経済学部准教授	島 敏夫
(国際経済学科→経済学科)	
経済学部准教授	中村 博
(キャリアセンター→経済学科)	
経済学部准教授	筒本 和広
(環境情報学科→経済学科)	
経済学部准教授	藤岡 照夫
(環境情報学科→国際経済学科)	
経済学部准教授	鶴崎 健一
(環境情報学科→税務会計学科)	
経済学部講師	鍋島正次郎
(経済学科→国際経済学科)	
人間文化学部教授	三宅正太郎
(人間文化学科→メディア情報文化学科)	
人間文化学部教授	森 克己
(情報処理工学科→メディア情報文化学科)	
人間文化学部教授	川地 洋一
(心理学科→メディア情報文化学科)	
人間文化学部准教授	田中 始男
(情報処理工学科→メディア情報文化学科)	
人間文化学部講師	石川 洋
(情報処理工学科→メディア情報文化学科)	
人間文化学部講師	渡辺 浩司
(情報処理工学科→メディア情報文化学科)	
人間文化学部講師	中橋 雄
(人間文化学科→メディア情報文化学科)	



人間文化学部講師 小野 太幹  
(心理学科→環境情報学科)  
工学部教授 千葉 利晃  
(建設環境工学科→情報工学科)

○配置換え(助手→助教)

工学部助教 佐川 宏幸  
工学部助教 中村 雅樹  
工学部助教 津田 将行  
工学部助教 片桐 重和  
生命工学部助教 佐藤 淳  
薬学部助教 五郎丸 剛  
情報処理センター助教 瀬島 紀夫

(備考)学校教育法の一部改正により助教教授については准教授に、技術助手については助手に配置換えをした。

また学科名の変更に伴い工学部建築・建設学科、工学部情報工学科の教員については、所属の配置換えをした。

(以上4月1日付)

◎併任

生命工学部教授 壺井 基夫  
生命工学部教授 沖増 英治  
情報処理センター准教授筒本 和広  
留学生センター教授 青木 美保  
留学生センター教授 川地 洋一  
留学生センター准教授 原 千史  
留学生センター講師 渡辺 浩司

(以上4月1日付)

◎免併任

留学生センター教授 篠田 昭夫  
留学生センター教授 久保 卓哉

(以上4月1日付)

◎兼務

保健管理室長事務取扱 田中 正孝  
(4月1日付)

◎採用

経済学部教授 佐々木 宏  
人間文化学部講師 日下部典子  
人間文化学部講師 廣川 空美  
人間文化学部講師 飯田 豊  
生命工学部教授 谷口 順彦  
薬学部教授 宇野 勝次  
薬学部准教授 小嶋英二郎  
薬学部助教 安楽 誠

薬学部助教 土谷 大樹  
薬学部助手 堤 広之  
薬学部助手 古謝 景子  
薬学部助手 野口 賀代  
薬学部助手 波多江智美  
薬学部助手 中谷 史菜  
薬学部助手 井上 尚子  
薬学部助手 松浦 緑  
薬学部助手 木下千恵美  
留学生センター講師 八杉 和子  
(以上4月1日付)

◎客員教授

田中 秀征 (経済学部)  
白井 公平 (経済学部)  
三村 敏之 (経済学部)  
原田 伸之 (経済学部)  
妹尾 正毅 (経済学部)  
高田 雄司 (経済学部)  
石田 寛 (人間文化学部)  
奥村 昭和 (人間文化学部)  
吉田 一衛 (人間文化学部)  
中村 清次 (人間文化学部)  
伊藤 三郎 (人間文化学部)  
藤森 益弘 (人間文化学部)  
宮地 克昌 (人間文化学部)  
梅津 憲治 (生命工学部)  
田中 良和 (生命工学部)  
宮崎 信之 (生命工学部)  
井口 定男 (薬学部)  
吉村 博文 (構造・材料開発研究センター)  
(以上4月1日付)

◎客員教員(准教授待遇)

鄭 建成 (経済学部)  
(4月1日付)

【職員】

◎退職

入試広報室参事 光波祥二郎  
経済学部・人間文化学部事務室  
事務主任 三藤 厚江  
(以上3月31日付)

◎任期満了

薬学部用務員 佐々木克己  
(3月31日付)

◎昇任

附属図書館事務長心得 桑田 成年  
(4月1日付)

◎配置換え

庶務課長 松岡 哲衛  
(文書課→庶務課)  
工学部・生命工学部事務室事務長  
岡田 進  
(薬学部事務室→工学部・生命工学部事務室)  
薬学部事務室事務長 萩原 善則  
(工学部・生命工学部事務室→薬学部事務室)  
工学部・生命工学部事務室事務長補佐  
皿谷 英敏  
(学生課→工学部・生命工学部事務室)  
学生課事務職員 前原 隆志  
(教務課→学生課)  
学生課長 阿南 達子  
(附属図書館事務長→学生課長)  
(以上4月1日付)

◎兼務

文書課長 松岡 哲衛  
法人事務局財務担当 萩原 善則  
国際交流課長事務取扱 阿南 達子  
国際交流課事務職員 佐藤 理恵  
(以上4月1日付)

◎免兼務

庶務課長 松岡 哲衛  
学生課長事務取扱 牧野 光良  
留学生主幹付 佐藤 理恵  
庶務課庶務主幹(国際交流担当) 阿南 達子  
附属図書館  
図書課長・整理課長 阿南 達子  
(以上4月1日付)

◎採用

法人事務局参与 大谷 巖  
入試広報室参事 島田 歆二  
入試広報室参事 前原 幸三  
薬学部事務職員 門利有樹子  
教務課事務職員 豊田 佳明  
秘書主管(事務嘱託員) 森迫 哲子  
(兼)法人事務局秘書主管  
国際交流課参事(事務嘱託員) 上 泰二  
(以上4月1日付)

# 平成20年度 入学試験の概要

平成20年度入学試験の日程については次のとおりです。全入学試験において同窓生・在学生入学金減免制度を実施しています。この他指定校入学試験を実施しています。  
詳細については入試広報室までお問い合わせ下さい。

## ◆入試日程

入試種別	出願期間	試験日	合格発表日
ＡＯ入学試験（第Ⅰ期）	（エントリーシート提出期間） 平成19年8月1日（水） ～9月10日（月）	平成19年 10月13日（土）	平成19年 10月17日（水）
ＡＯ入学試験（第Ⅱ期）	（エントリーシート提出期間） 平成19年9月11日（火） ～10月10日（水）	平成19年 11月17日（土）	平成19年 11月21日（水）
ＡＯ入学試験（第Ⅲ期）	（エントリーシート提出期間） 平成19年10月11日（木） ～11月10日（土）	平成19年 12月15日（土）	平成19年 12月19日（水）
ＡＯ入学試験（第Ⅳ期）	（エントリーシート提出期間） 平成19年11月12日（月） ～12月10日（月）	平成20年 1月17日（木）	平成20年 1月21日（月）
ＡＯ入学試験（第Ⅴ期）	（エントリーシート提出期間） 平成19年12月11日（火） ～1月10日（木）	平成20年 2月16日（土）	平成20年 2月20日（水）
ＡＯ入学試験（第Ⅵ期）	（エントリーシート提出期間） 平成20年1月11日（金） ～2月8日（金）	平成20年 3月15日（土）	平成20年 3月18日（火）
推薦入学試験（Ａ日程） （試験日自由選択制）	平成19年10月17日（水） ～11月1日（木）（消印有効）	平成19年 11月 7日（水） 平成19年 11月 8日（木）	平成19年 11月14日（水）
推薦入学試験（Ｂ日程）	平成19年11月27日（火） ～12月7日（金）（消印有効）	平成19年 12月12日（水）	平成19年 12月15日（土）
前期入学試験（Ａ日程） （試験日自由選択制）	平成20年1月5日（土） ～1月25日（金）（消印有効）	平成20年 1月31日（木） 平成20年 2月 1日（金） 平成20年 2月 2日（土） 平成20年 2月 3日（日）	平成20年 2月 8日（金）
前期入学試験（Ｂ日程）	平成20年2月4日（月） ～2月13日（水）（消印有効）	平成20年 2月17日（日）	平成20年 2月20日（水）
後期入学試験 （試験日自由選択制）	平成20年2月22日（金） ～3月10日（月）（消印有効）	平成20年 3月14日（金） 平成20年 3月15日（土）	平成20年 3月18日（火）
センター試験利用入学試験 （前期日程）	平成20年1月5日（土） ～1月29日（火）（消印有効）	個別学力試験は課さない	平成20年 2月15日（金）
センター試験利用入学試験 （後期日程）	平成20年2月22日（金） ～3月10日（月）（消印有効）	個別学力試験は課さない	平成20年 3月18日（火）

※試験日自由選択制とは、上記試験日の中から、試験日を志願者が自由に選択できる制度です。  
志願者は、同一学部・学科を複数回志願することや、異なる学科を1日ずつ志願することもできます。

## ◆試験地

- ＡＯ入試（第Ⅰ期・第Ⅱ期・第Ⅲ期・第Ⅳ期・第Ⅴ期・第Ⅵ期）【福山（福山大学）】
- 推薦入試（Ａ日程）【11/7・11/8 福山（福山大学）・広島・福岡・岡山】  
【11/7 鳥取・高知・徳島・大阪】【11/8 小郡・松江・松山・高松・神戸】
- 推薦入試（Ｂ日程）【福山（福山大学）・広島・小郡・松江・高松・松山・福岡・岡山・大阪】
- 前期入試（Ａ日程）【1/31～2/3 福山（福山大学）・広島・小郡・福岡・岡山】  
【1/31 鳥取・徳島・京都】【2/1 米子・高松】【2/2 高知・静岡】  
【2/3 松山・神戸・名古屋】【1/31・2/1 大分・長崎・東京】  
【2/2・2/3 松江・鹿児島・熊本】【2/1・2/2 大阪】
- 前期入試（Ｂ日程）【福山（福山大学）・広島・岡山】
- 後期入試【福山（福山大学）・広島・福岡・岡山・大阪】

## 編集後記

福山大学学報も版が変わって2号目となりました。今回は、本学の高い就職率の特集、学生のサークル活動、学会受賞、教員の研究、地域貢献など大学の活動が多角的にわかるように編集しました。皆様のご意見をお待ちしています。

発行 福山大学  
編集 福山大学広報委員会  
〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵  
TEL (084) 936-2111 FAX (084) 936-2213

<http://www.fukuyama-u.ac.jp>